

クイックリファレンスガイド

ひと目でわかる、組み込み型ソフトウェアの収益化

今日の電気製品は、標準化されたハードウェアと、ますます高度化するソフトウェアとを組み合わせたアーキテクチャへと急速にシフトしています。このようにソフトウェアをベースとするIP（知的財産）へ移行することによって、成熟していながらもグローバル化の止まない市場で、今まで以上に柔軟で競争力のある価格設定が可能となります。それと同時に、インテリジェントハードウェアベンダーにとってなじみのない新たなリスクも多くなります。たとえば偽造、不正改造、デバイスの改ざんなどです。さらに、製品の価格設定、パッケージング、管理といった要素にまつわる、まったく新しい戦略も必要です。それは、従来はハードウェアビジネスに適用していたような戦略です。






顧客の抱える経営課題

- 1 製品ラインごとにハードウェアのバリエーションが多すぎて、在庫管理、サポート、出荷といった作業にコストがかかる。
- 2 ライバル企業のスパイ行為によって企業秘密が盗まれる。
- 3 IP（知的財産）の盗難によって、不正なコピー商品が製造および、販売される。
- 4 故意に、あるいは意図せずにデバイスが改ざんされることによって、機能が変更されるだけでなく、法規制にも準拠しなくなる。
- 5 製品の機能を柔軟に設定できないため、市場への浸透力が乏しい。
- 6 アップグレードとリニューアルの作業に手間がかかるため、サポートコストが高くなり、顧客エクスペリエンスが低下する。

ソリューション

急速な進化の最中にあるハードウェア産業でデバイスメーカーおよび機材メーカーが成功を収めるためには、それぞれのハードウェアで稼働するソフトウェアの管理と収益化に集中する必要があります。ソフトウェア保護とライセンス処理を担うシステムを利用すれば、不正なアクセスからアプリケーションが保護されるだけでなく、製品の設定と管理もきわめて効率よく行えるようになります。

インテリジェントデバイスメーカーは、ハードウェア組み込み型ソフトウェアの収益化に集中することで次のことが実現できるようになります。

-  **製品とブランドの健全性を維持**：製品の改ざん、リバースエンジニアリング、窃盗が防げます。
-  **新規および、既存を問わず収益源を保護**：不正なコピー製品の製造と販売を防ぐことができます。
-  **新たな市場への進出による収益機会の増大**：自由度の高いパッケージング手法によって、新たな市場への参入が容易になります。
-  **運用コストの大幅な削減**：在庫管理のコストを下げる手段として、加えて、製品のサポート、アップグレードや更新といった作業もシンプルにする手段として利用でき、ハードウェアのバリエーションの整理が図れます。
-  **顧客エクスペリエンスの改善と新製品導入率の向上**：顧客管理がタッチレスで行えるようになって、製品のアクティベーション、アップグレード、更新とサポートが簡単に、しかも頻繁に行えるようになります。

ソフトウェアを軸とするビジネスモデルへうまく移行できるかどうか。この成否は、ソフトウェアライセンスとポリシー管理とを担う成熟したコンポーネントによって大きく左右されます。そうしたコンポーネントがないと、シームレスなユーザエクスペリエンスもスケーラブルな事業経営も約束されないからです。実績があって、セキュアで、しかも拡張性に富んだソフトウェアライセンスソリューションとエンタイトルメント管理ソリューションを提供するベンダー、たとえばジェムアルトのようなベンダーを選ぶことは、ソフトウェアを原動力とする新時代のインテリジェントデバイスに成功をもたらすカギの1つです。

-Avni Rambhia (Frost & Sullivan社デジタルメディアインダストリーマネージャー)

ビジネス目的を実現する仕組み：

ライセンスソリューションを導入すれば、デバイスを動かしているソフトウェアをフィーチャレベルで制御できるようになります。

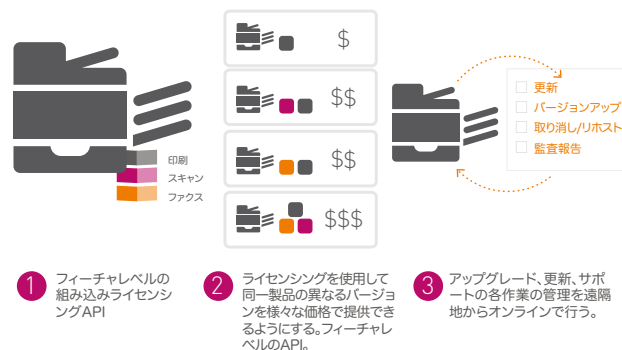
ソフトウェアのフィーチャレベルでハードウェアが制御できれば、製品構成がよりコスト効率の高い方法で管理できるようになります。加えて、ビジネスモデルのバリエーションを拡げることで、より多数の顧客を惹きつけて離さないでおくことも可能となります。

フィーチャレベルでの制御は、アップグレード、更新、アドオンなど、継続的な販売とサポート業務の多くに関連するプロセスを単純化してくれるとともに、多くの場合、そのプロセスを自動化してくれます。

各種機能へのアクセス制御に使用すると同じシステムを使って、製品および機能の使用率レポートも生成できます。このデータは、従量制ビジネスモデルの活性化にも使えますし、貴重なビジネスインテリジェンスを生み出すのにも使えます。

エンタイトルメント管理システムでライセンスシステムを補えば、製品のアクティベーションから、継続的に行われる使用率管理、アップグレード管理に至るまで、顧客ライフサイクル管理関連の面倒なプロセスの多くが簡単に自動化できます。運用コストを大幅に下げ、顧客エクスペリエンスを改善することができます。

フィーチャレベルでパッケージング、制御、管理をしている様子：



Sentinelが選ばれる理由：

ジェムアルトのソフトウェア収益化ソリューション「Sentinel」シリーズは、ネットワーク機器から医療機器、モバイル端末、産業用オートメーション装置に至るまで、ハードウェアのあらゆる部分に組み込まれるソ

フトウェアの保護と管理に特化しています。小型化とメモリー使用の効率化とを両立していますので、組み込み環境として最も厳しい制約条件にさえ、デバイスの性能を損なわずに順応できます。

- > **Sentinel RMS Embedded**-Sentinel RMSの中でも特にポータビリティ（移植性）にすぐれたバージョンです。ソフトウェアベースのライセンスビジネスに取り組む顧客にとって理想的であり、メモリーに対する制約の厳しい組み込み環境の要求に応じることを目的に設計されています。このソリューションはすでに、VxWorks、Linux ARM、Linux x86、Androidといったさまざまなプラットフォームに対応していますが、派生タイプや標準以外のプラットフォームも利用できます。マルチプラットフォーム環境のユーザも、Sentinel RMSの既存顧客も、同じ手順で開発が進められます。
- > **Sentinel LDK Embedded**-Sentinel LDKの中でも特に移植性にすぐれたバージョンです。これを利用することで、組み込み市場に参入したデバイスメーカーやソフトウェアベンダーは、トークンベースのライセンスが使用できるようになります。可能な限り最強のセキュリティを施したSentinel LDKは、暗号化を利用したハードウェアキーのメモリーにライセンスデータを格納します。また、ライセンスの移動が可能で、新しいデバイスや代替デバイスに瞬時にライセンスを移すことができます。簡単に利用できる組み込み用途のプラットフォームとしてはLinux ARMやAndroidがあります。

デバイスメーカーと装置メーカーは、こうした製品を利用することで、製品のパッケージングや顧客ライフサイクル管理のためのまったく新しい手法を身につけることとなります。それと同時に、不正使用、改ざんやリパースエンジニアリングから製品を強固に保護することが実現されます。規模、信頼度とも世界に名だたるデバイスメーカーや装置メーカーたちがジェムアルトを信頼するのには、次のような理由があります。

- > **高評価のセキュリティ機能：**ライセンスの施行とIPの保護を担うシステムによって、デバイスとブランドの健全性を保ち、リパースエンジニアリングを防ぎ、収益を守ります。
- > **容易な製品構成管理：**主要コードを1つビルドするだけで、価格設定オプション、パッケージングオプションを複数用意できます。在庫コストを減らし、多くの運用プロセスを単純化することができます。
- > **柔軟なビジネスモデル：**柔軟なライセンスモデルと施行システムの多彩さは業界随一です。デバイスメーカーも装置メーカーも、パッケージングに対するすべての顧客の要求を常に満たすことが可能になります。
- > **リモートフィーチャ管理：**ソフトウェアのアップグレードと、フィーチャレベルでのアクセス管理とが遠隔地から行えます。顧客ライフサイクル管理プロセスの全体を単純化することができます。
- > **一元管理とプロセスオートメーション：**ソフトウェア開発会社は、Webベースのエンタイトルメント管理ソリューションであるSentinel EMSに統合することで、製品のアクティベーション、使用状況の追跡、エンドユーザのエンタイトルメントの継続的管理といった作業の一元化と自動化ができるようになります。
- > **高いポータビリティ：**難しい設定をしなくても、各種のプラットフォームとOSで利用できます。また、カスタム移植を短時間で容易に行える設計になっています。

ジェムアルトのSentinelソフトウェア収益化ソリューションについて

ジェムアルトはSafeNetを傘下に収めることで、オンプレミス、組み込み、クラウドのソフトウェアベンダーに向けたライセンスとエンタイトルメント管理ソリューションで業界をリードするプロバイダーとなりました。ジェムアルトのSentinelは、セキュアで、柔軟性と将来性を兼ね備えたソフトウェア収益化ソリューションとして、ソフトウェア業界で最も信頼されているブランドです。

お問い合わせ先：すべてのオフィスの所在地と連絡先情報につきましては、www.gemalto.com/japan/software-monetization をご覧ください。

フォローする：licensinglive.com

GEMALTO.COM

gemalto
security to be free